



工夫満載、新聞を切り抜いて「絵手紙」

来月 大分市で展覧会、力作ずらり



「新聞でアイデアが広がった」と語る講師的那賀美代さん
(前列中央)と教室生―大分市府内町のコンパルホール

大分市の絵手紙講師、那賀美代さん(70)と市内の教室生40人が、新聞紙を使った絵手紙に挑戦している。6月1〜7日にJCOMホールトホール大分(同市金池南)で展覧会を開き、成果を発表する。那賀さんは、今年2月に県立美術館(同市寿町)で開かれた国東市の書道家・牧泰清さん(87)の「新聞紙に書く書道展」を見て感動。絵手紙でも新聞紙を使ってみようと考えた。

気になった見出しや記事、写真などを切り抜いて用紙に貼り付け、筆で絵を描き、言葉を書き入れて一枚の作品に仕上げる。「H3打ち上げ成功」の見出しにロケットの絵と「これからは勝負です」の言葉を添えたり、快晴の天気図にヒマワリを描いて梅雨明けを表現したり、バラエティーに富んでいる。

教室生の牧直子さん(69)は「毎日ページをめくって題材を探した。最初は難しかったが、記事に自分の気持ちも込めることができ、工夫のしがいがあった」と笑顔。那賀さんは「初めての試みだったが、活字や写真からイメージが湧いたり、社会的なメッセージも出たり、思いがけない自分を引き出してくれた。展示をぜひ見たい」と新聞紙を使った表現に手応えをつかんでいる。

(木村真弓)

〔問①〕 絵手紙講師的那賀さんが感動した書道展の名前は？

〔問②〕 「H3打ち上げ成功」の見出しを使った作品に添えられた言葉は？

〔問③〕 あなたも新聞絵手紙にチャレンジしてみよう！